



2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月12日

上場会社名 株式会社やまびこ 上場取引所 東
 コード番号 6250 URL http://www.yamabiko-corp.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 永尾 慶昭
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 佐野 雄一 TEL 0428-32-6111
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	67,989	4.4	6,041	16.0	5,992	23.5	4,128	9.4
2019年12月期第2四半期	65,095	3.1	5,209	23.6	4,850	23.2	3,774	26.3

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 3,428百万円 (6.8%) 2019年12月期第2四半期 3,211百万円 (33.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	99.49	—
2019年12月期第2四半期	91.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第2四半期	110,100	58,259	52.9	1,403.82
2019年12月期	102,845	56,285	54.7	1,356.54

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 58,259百万円 2019年12月期 56,285百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	—	—	35.00	35.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期 (予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	124,000	2.5	6,300	1.6	6,100	3.1	4,400	5.7	106.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 2 Q	44,108,428株	2019年12月期	44,108,428株
② 期末自己株式数	2020年12月期 2 Q	2,607,762株	2019年12月期	2,616,368株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 2 Q	41,494,925株	2019年12月期 2 Q	41,403,546株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く市場環境は、国内外の天候は比較的順調に推移したものの、世界的な新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出制限や経済活動の規制により、生産活動や販売活動などが深刻な影響を受けました。国内農業機械市場は前年の消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動などによりトラクタやコンバインが大きく落ち込みましたが、順調な天候を背景に刈払機は好調となりました。国内建設機械市場は人材不足が継続し、建設工事の遅れに伴う購買意欲の減退や販売活動が停滞したことなどにより低調となりました。海外小型屋外作業機械市場は主力の北米や欧州で春先に新型コロナウイルスの感染が急速に拡大した影響から販売は激減したものの、その後、経済活動に対する規制が緩和されたことなどにより一部で回復が見られました。

また、為替相場は、前年同期間に比べ対ドル対ユーロともに円高水準となりました。

このような環境の下、当社グループは、「中期経営計画2022」で掲げた小型屋外作業機械市場におけるプロ向け「Xシリーズ」製品を拡充するとともに、デジタルマーケティングによるブランド認知度向上などの諸施策を着実に進めながら、刻々と変化する新型コロナウイルス感染状況に対応し、従業員の安全や健康の確保を優先しながら生産や販売への影響を最小限に留めるよう事業活動に努めました。

以上のような事業活動を展開した結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループ連結業績は次のとおりとなりました。

	2019年12月期 第2四半期連結累計期間	2020年12月期 第2四半期連結累計期間	増減率
	百万円	百万円	%
売上高	65,095	67,989	4.4
国内	24,338	25,580	5.1
海外	40,757	42,409	4.1
米州	34,077	37,166	9.1
その他海外	6,679	5,242	△21.5
営業利益	5,209	6,041	16.0
経常利益	4,850	5,992	23.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,774	4,128	9.4

[売上高]

国内：好調だった一般産業用機械は減速したものの、小型屋外作業機械が伸長し、農業用管理機械も好調に推移した結果、増収となりました。

海外：米州は、一般産業用機械や中南米市場が落ち込んだものの、北米市場で小型屋外作業機械が大幅伸長し、農業用管理機械も回復して増収となりました。米州以外の海外は、欧州やアジアが低迷し、オセアニアも大きく減少しました。海外全体の売上高は、為替がドル、ユーロともに円高となったものの、北米が牽引した結果、増収となりました。

[損益]

営業利益は円高や原価率の上昇があったものの、主に販売数量の増加が利益を押し上げ、増益となりました。経常利益は為替差損の減少などにより増益となり、親会社株主に帰属する四半期純利益も増益となりました。

[セグメント別の概況]

① 小型屋外作業機械

	2019年12月期 第2四半期連結累計期間	2020年12月期 第2四半期連結累計期間	増減率
売上高	百万円 44,159	百万円 47,261	% 7.0
国内	7,295	8,061	10.5
海外	36,863	39,200	6.3

国内：主力の刈払機は順調な天候を背景に新製品やホームセンター向け製品を中心に大きく伸長し、チェーンソーもプロ向けが好調だったほか、アクセサリ、スペアパーツも伸びて増収となりました。

海外：主力の北米は特に大手ホームセンター向けの刈払機やチェーンソーが大幅に伸長したほか、アクセサリ、スペアパーツも好調でした。一方、欧州など北米以外の海外は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う販売活動の規制などにより一時的に大きく落ち込みました。規制の緩和とともに回復傾向に転じましたが、当期間中の販売数量は減少しました。海外全体では、円高による為替の影響を受けたものの、北米の販売が牽引して増収となりました。

② 農業用管理機械

	2019年12月期 第2四半期連結累計期間	2020年12月期 第2四半期連結累計期間	増減率
売上高	百万円 11,351	百万円 11,949	% 5.3
国内	9,066	9,494	4.7
海外	2,285	2,455	7.4

国内：省力化・効率化に資する畦草刈機、モアや高所作業機に加え、果樹農家向け補助事業の対象となったスピードスプレーや価格政策を展開した乗用管理機などが増加して増収となりました。

海外：北米は大豆収穫機が落ち込んだものの、ポテト関連製品が堅調に推移したことなどにより増収となりました。

③ 一般産業用機械

	2019年12月期 第2四半期連結累計期間	2020年12月期 第2四半期連結累計期間	増減率
売上高	百万円 8,603	百万円 7,827	% △9.0
国内	6,999	7,074	1.1
海外	1,604	753	△53.1

国内：新型コロナウイルスの感染拡大に伴う建設工場の遅れなどにより溶接機や切断機が落ち込みましたが、主力の発電機は、前年の北海道向け非常用自家発電機の整備需要の反動などがあったものの、建機レンタル会社向けが好調となり、僅かに増収となりました。

海外：新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済活動の規制により大きく落ち込んで減収となりました。

④ その他

	2019年12月期 第2四半期連結累計期間	2020年12月期 第2四半期連結累計期間	増減率
売上高	百万円 980	百万円 950	% △3.0
国内	976	950	△2.6
海外	4	0	△97.4

主要3事業以外の売上高は、主に自動車用試作部品が落ち込んで減収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて72億54百万円増加し1,101億円となりました。

その主な要因は、現金及び預金の増加16億83百万円、受取手形及び売掛金の増加84億75百万円、商品及び製品の減少10億98百万円、仕掛品の減少10億65百万円等によるものです。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて52億80百万円増加し518億40百万円となりました。

その主な要因は、支払手形及び買掛金の増加11億7百万円、電子記録債務の増加16億65百万円、未払法人税等の増加11億56百万円、賞与引当金の増加14億77百万円等によるものです。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて19億74百万円増加し582億59百万円となりました。

これは、利益剰余金の増加26億68百万円、為替換算調整勘定の減少4億39百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.8ポイント減少し、52.9%となりました。

④ キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動によるキャッシュ・フローが36億11百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが13億34百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが5億71百万円の支出となりました。その結果、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は79億46百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益59億66百万円、減価償却費17億95百万円、賞与引当金の増加額14億77百万円、売上債権の増加額87億20百万円、仕入債務の増加額34億5百万円、法人税等の支払額8億7百万円などにより、36億11百万円の収入(前年同四半期は41億33百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出14億29百万円などにより、13億34百万円の支出(前年同四半期は18億50百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入21億64百万円、長期借入金の返済による支出22億96百万円、配当金の支払額14億54百万円などにより5億71百万円の支出(前年同四半期は7億40百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループ売上の過半数が米ドルを中心とする外貨によるものであるため、為替相場の動向によっては、業績に大きく影響がおよぶ可能性があります。

2020年5月13日に公表いたしました「業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせ」において、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、合理的な業績予想の算定を行うことが困難な状況であったため2020年12月期連結業績予想および期末配当予想を一旦取り下げ、未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報に基づき、業績予想および期末配当予想を算定いたしましたので、公表いたします。

詳細については、本日(2020年8月12日)公表しました「業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,262	7,946
受取手形及び売掛金	25,693	34,168
商品及び製品	23,434	22,335
仕掛品	3,103	2,038
原材料及び貯蔵品	10,797	11,695
その他	2,300	1,655
貸倒引当金	△322	△324
流動資産合計	71,270	79,515
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,508	8,239
土地	7,988	7,915
その他（純額）	7,711	7,345
有形固定資産合計	24,208	23,500
無形固定資産	668	552
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	1,611	1,600
その他	5,468	5,321
貸倒引当金	△382	△390
投資その他の資産合計	6,697	6,531
固定資産合計	31,575	30,584
資産合計	102,845	110,100

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,947	10,054
電子記録債務	11,975	13,640
短期借入金	2,972	4,030
1年内返済予定の長期借入金	2,578	381
未払法人税等	760	1,917
賞与引当金	—	1,477
製品保証引当金	1,091	649
厚生年金基金解散損失引当金	475	475
その他	5,050	4,400
流動負債合計	33,852	37,026
固定負債		
長期借入金	9,837	11,860
退職給付に係る負債	42	44
製品保証引当金	519	862
厚生年金基金解散損失引当金	1,492	1,132
役員株式給付引当金	105	119
その他	709	794
固定負債合計	12,706	14,814
負債合計	46,559	51,840
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,000	6,000
資本剰余金	9,754	9,743
利益剰余金	39,957	42,626
自己株式	△940	△925
株主資本合計	54,771	57,445
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,039	777
為替換算調整勘定	548	109
退職給付に係る調整累計額	△72	△71
その他の包括利益累計額合計	1,514	814
純資産合計	56,285	58,259
負債純資産合計	102,845	110,100

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	65,095	67,989
売上原価	46,436	48,618
売上総利益	18,658	19,371
販売費及び一般管理費	13,448	13,329
営業利益	5,209	6,041
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	40	35
受取ロイヤリティー	29	16
持分法による投資利益	9	24
その他	183	102
営業外収益合計	264	181
営業外費用		
支払利息	156	80
為替差損	380	92
支払手数料	32	1
その他	54	56
営業外費用合計	623	230
経常利益	4,850	5,992
特別利益		
固定資産売却益	3	0
特別利益合計	3	0
特別損失		
固定資産除売却損	57	25
特別損失合計	57	25
税金等調整前四半期純利益	4,796	5,966
法人税、住民税及び事業税	1,715	1,969
法人税等調整額	△693	△131
法人税等合計	1,022	1,838
四半期純利益	3,774	4,128
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,774	4,128

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	3,774	4,128
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	84	△261
為替換算調整勘定	△662	△439
退職給付に係る調整額	15	1
その他の包括利益合計	△562	△699
四半期包括利益	3,211	3,428
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,211	3,428

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,796	5,966
減価償却費	1,686	1,795
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	11	11
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10	3
貸倒引当金の増減額(△は減少)	17	15
受取利息及び受取配当金	△42	△37
支払利息	156	80
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,614	1,477
売上債権の増減額(△は増加)	△7,643	△8,720
たな卸資産の増減額(△は増加)	△190	861
仕入債務の増減額(△は減少)	4,345	3,405
未収消費税等の増減額(△は増加)	773	768
持分法による投資損益(△は益)	△9	△24
厚生年金基金解散損失引当金の増減額(△は減少)	△360	△360
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	11	14
その他	△117	△782
小計	5,060	4,474
利息及び配当金の受取額	39	36
利息の支払額	△138	△92
法人税等の支払額	△828	△807
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,133	3,611
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,851	△1,429
有形及び無形固定資産の売却による収入	3	101
その他	△3	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,850	△1,334
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	270	1,084
長期借入れによる収入	5,400	2,164
長期借入金の返済による支出	△4,599	△2,296
配当金の支払額	△1,657	△1,454
連結子会社増資に伴う非支配株主からの払込による収入	35	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△112	△10
その他	△77	△58
財務活動によるキャッシュ・フロー	△740	△571
現金及び現金同等物に係る換算差額	△94	△21
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,446	1,683
現金及び現金同等物の期首残高	4,641	6,262
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,088	7,946

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症(以下、本感染症)の拡大は、経済や企業活動に広範な影響を与え、今後の先行きは不透明な状況にあります。

しかしながら、現時点におきましては当社グループの生産面、販売面への影響は限定的であり、今後も本感染症による影響は限定的な範囲にとどまるものと仮定して、繰延税金資産の回収可能性及び固定資産の減損損失等の会計上の見積りを行っております。

なお、本感染症の影響については不確定要素が多いため、その状況によっては今後の財政状態、経営成績に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小型屋外作業 機械	農業用管理機械	一般産業用機械	計			
売上高							
外部顧客への 売上高	44,159	11,351	8,603	64,114	980	—	65,095
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	27,485	7,420	6,938	41,844	1,098	△42,943	—
計	71,644	18,771	15,542	105,959	2,078	△42,943	65,095
セグメント利益 又は損失(△)	7,350	△23	702	8,028	199	△3,018	5,209

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,018百万円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小型屋外作業 機械	農業用管理機械	一般産業用機械	計			
売上高							
外部顧客への 売上高	47,261	11,949	7,827	67,039	950	—	67,989
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	28,291	7,966	7,655	43,913	602	△44,516	—
計	75,553	19,916	15,483	110,953	1,552	△44,516	67,989
セグメント利益	8,165	184	544	8,894	171	△3,023	6,041

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益の調整額△3,023百万円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。